

悪魔

なんかに

負け

だって

天使

だもん!

絶対にやで!!

勝てるかしら?

うふふ...♡

作切傷甲



「こんにちは！ 私リエル！ 最近この辺りで怪しい悪魔が目撃されているの！」

「私が調査をしてやっつけなきゃ！」

「一体誰に向かって話してるんや……」

「あっ誰かおるで！」

「早速聞き込みに行きましょう！」

「こんにちは！ 私リエル！ この辺りで怪しい悪魔を見かけませんか？」

「教えてくれた方リエルとっても嬉しい！」

ふふっ♡



「天使にこの様な真似
神の裁きが下りますよ!」

「うふふ
強がっちゃって」

「ライが助けを
連れて来るまで
耐えるんやで!」

「私は悪魔なんか
負けません!」

「その威勢
いつまで
もつかしら?」

バチッ!

「!!!」

はっ!!





「さっやっ！
ちよつと！
やめて下さい！」

「へへへ……」

「目を覚まして！
あなた達は
悪魔に洗脳
されてるのよ！」

「良い身体
してるぜ……」

「あなたを
イかせまくって
仲間になりたく
らせてあげる♡」



「あんっ！」

「きゅん」

「ぽん」

「きゅん」



「だ
る
も
ん
で
す
か！」

「悪魔が何をして
も
私は絶対に
イッ
たり
し
ま
せ
ん！！」

「きりっ！」





「あっ♡あんっ♡
いやんっ♡いやんっ♡」

「なんて
いやらしい子
なのかしらね
♡」

「処女なのに
これだけ激しく
されても
気持ち良く
なるなんて♡」

[illegible]

「じゃあなるまで
もつと激しく
してあげる♡」

「ああんっ
イくイく
イくうっ
♡♡♡
」



「中やしぶとい
わねえ……」

「はあ♡ はあ♡
あ♡ 当り前ですっ♡
神に仕える者は
これしきの事で
くじけたりしませんっ♡」

「……のワリには
楽しんでやってる
みちいじゃない♡」

「までも流石に
コレは耐えられる
かしら……？」

「えっ!?!
まっ!?!
まっ!?!
それ……」



「そうよ♡
おっぱいに
押し当てて
あげる♡」

「ざーあーあーあーあー!!」



「あー!! あー!!
あぐううう!!」

「ほら
こっちも!!」



「ふうっ
負けないうっ
私 負けないうっ!!」

「可哀想!!
綺麗なお肌が
ダイナシ……!!」



「まあ天使ちゃん
私と楽しみ
ましよう……♡」

「……け……
汚らわしい!」

「うふふ♡
その威勢がいつまで
保つかしらね♡」

「女の子の身体に
おちんちん!」

「うふふふふ♡
悪魔の力は
何でもアリなの♡」

「あ
あ
あ……
そんな……」



「天使おまんこ
柔らかあい♡♡♡
クセになりそう♡♡♡」

「あっ♡ あっ♡
あああ♡♡♡♡♡」

「一緒にイキましょ♡♡♡
イクっ♡ イクっ♡♡♡」

「あひいいいんっ♡♡♡♡♡」

はんはんはん

はんはんはん

「精液ぷりぷり
でりゅうううっ♡♡♡」

あめ！

「んおおっ♡♡♡
子宮パンパンに
なりゅうううっ♡♡♡」

「はっ♡
はっ♡♡♡」

は



「すっかりトロトロね♥
おまんこがちゅうちゅう
吸い付いて気持ち良いわ♥」

「ああん♥ ああん♥
いやああん♥ ああん♥
もおくのいやあん♥」

「はー♥ はー♥
何度だって射精
できちゃう♥」

「うふふ…
もうあなたは
私の物よ♥」

「はあ♥ はあ♥
イクの止まらない♥」

「うふふふ…♥」

「私は…
私は…♥」



「私は……
あなたの方の物です……♡」

「悪魔の赤ちゃん
産みます……♡」

「うふふ ♡
そうね
こんなにお腹が
大きくなつて
来らんだもの」

「あともう少しで
あなた方は悪魔の子を
産むのよ……♡
うふふ ♡」

うた

ス
ス

とろり





「おっ♥ おおっ♥
また中出しっ♥」

「もう妊娠
しちゃいましゅっ♥」

「は〜♥
は〜♥
悪魔ちゃんぽで
堕天すりゅっ♥」

「皆仲良く私を
崇めるのよ♥」

ぐわんぐわん

「イぐっ♥
イぐっ♥
イぐっ♥
うっ♥」

ばちばち

（あかん！
コイツリ
弱すぎや！）

（も〜面倒
みきれんで
ホンマに！）

「ははい……
ライラ様……♥」

おしまい♥

ぐわんぐわん

悪魔なんかに負けない！ だって天使だもん！

終

著者 切傷甲
配信開始 2022年11月

■ブログ

<https://ci-en.dlsite.com/creator/4699>

■SNS

<https://twitter.com/kirikizu1>



悪魔

なんかに

負け

だつて

ない

天使

だもん!

絶対
ついに
やで!!

勝てるかしら?

うふふ...♡

作切傷甲

「こんにちは！私リエル！最近この辺りで怪しい悪魔が目撃されているの！」

「私が調査をしてやっつけなきゃ！」

「一体誰に向かって話してるんや……」

「あっ誰かあるで！」

「早速聞き込みに行きましょう！」

ふあ

ふあ

「こんにちは！私リエル！この辺りで怪しい悪魔を見かけませんでしゅ？」

「教えてくれた方リエルとっても嬉しい！」

ふーい♡



「天使にこの様な真似
神の裁きが下りますよ!」

「うふふ
強がっちゃって」

「ライが助けを
連れて来るまで
耐えるんやで!」

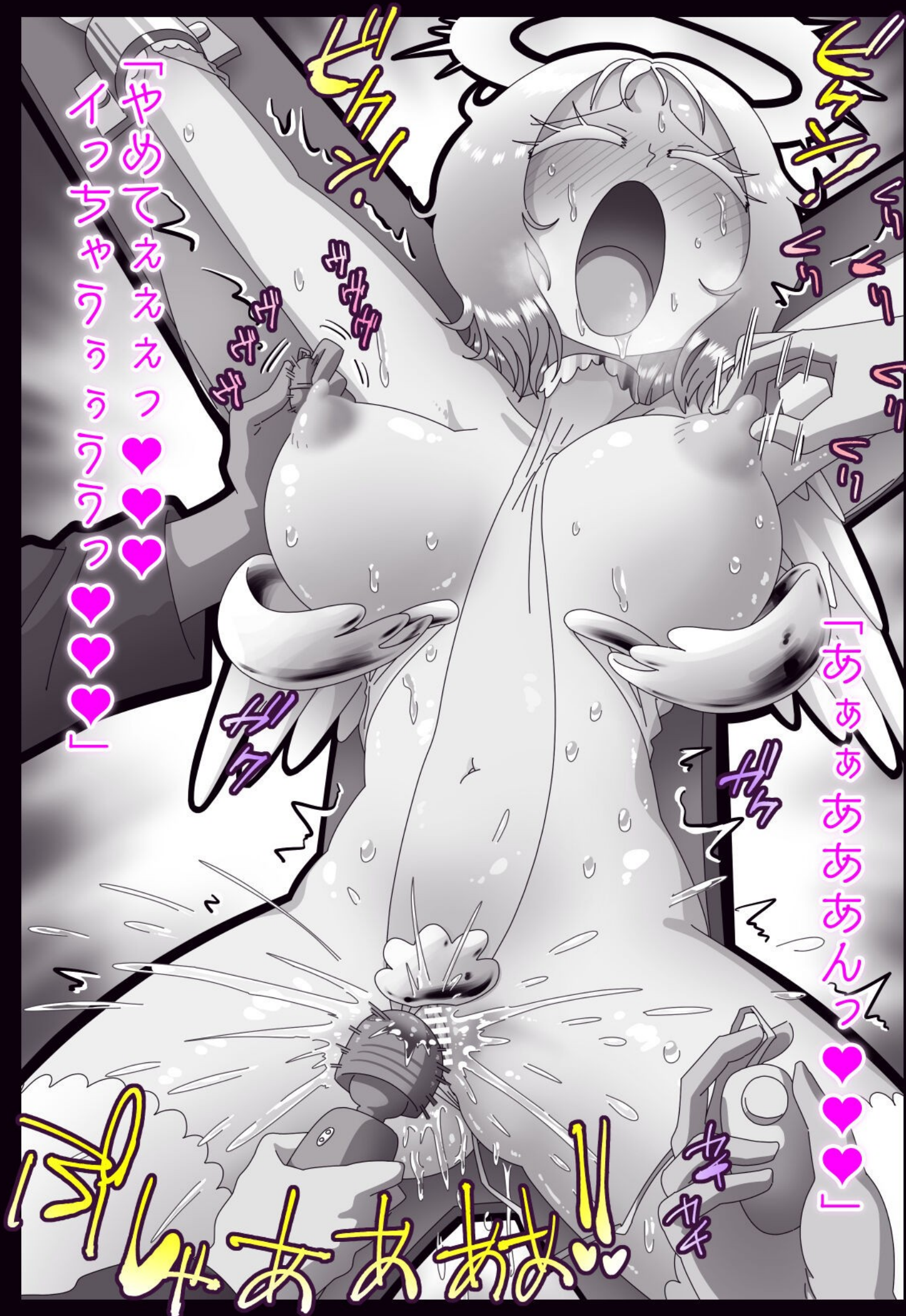
「私は悪魔なんか
負けません!」

バチッ!

「その威勢
いつまで
もつかしら?」

「!!」

はっ!



「やめてえええっ♡♡♡♡♡
イっちやううううっ♡♡♡♡♡」

「あああああんっ♡♡♡♡♡」

「あああああ!!♡♡」

「あっ♡ あんっ♡
いやんっ♡ いやんっ♡」

「なんて
いやらしい子
なのかしらね♡」

「処女なのに
これだけ激しく
されても
気持ち良く
なるなんて♡」

「すっ♡
なんて
気持ち良くっ♡
なんかつ♡♡♡
いませんっ♡♡♡」

「じゃあ なるまで
もっと激しく
してあげる♡」

「ああんっ♡♡♡
イクイク♡♡♡
イクうっ♡♡♡」

「うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡」

「うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡」



「イっちゃうっっっっ♡♡♡」

びん

びん

びん

びん

びん

あーあーあー

「神しやまあ♡♡♡
ごめんしやい♡♡♡」

!!

ん

ん



「気持ち良くて……♡
おかしくなっちゃう♡」

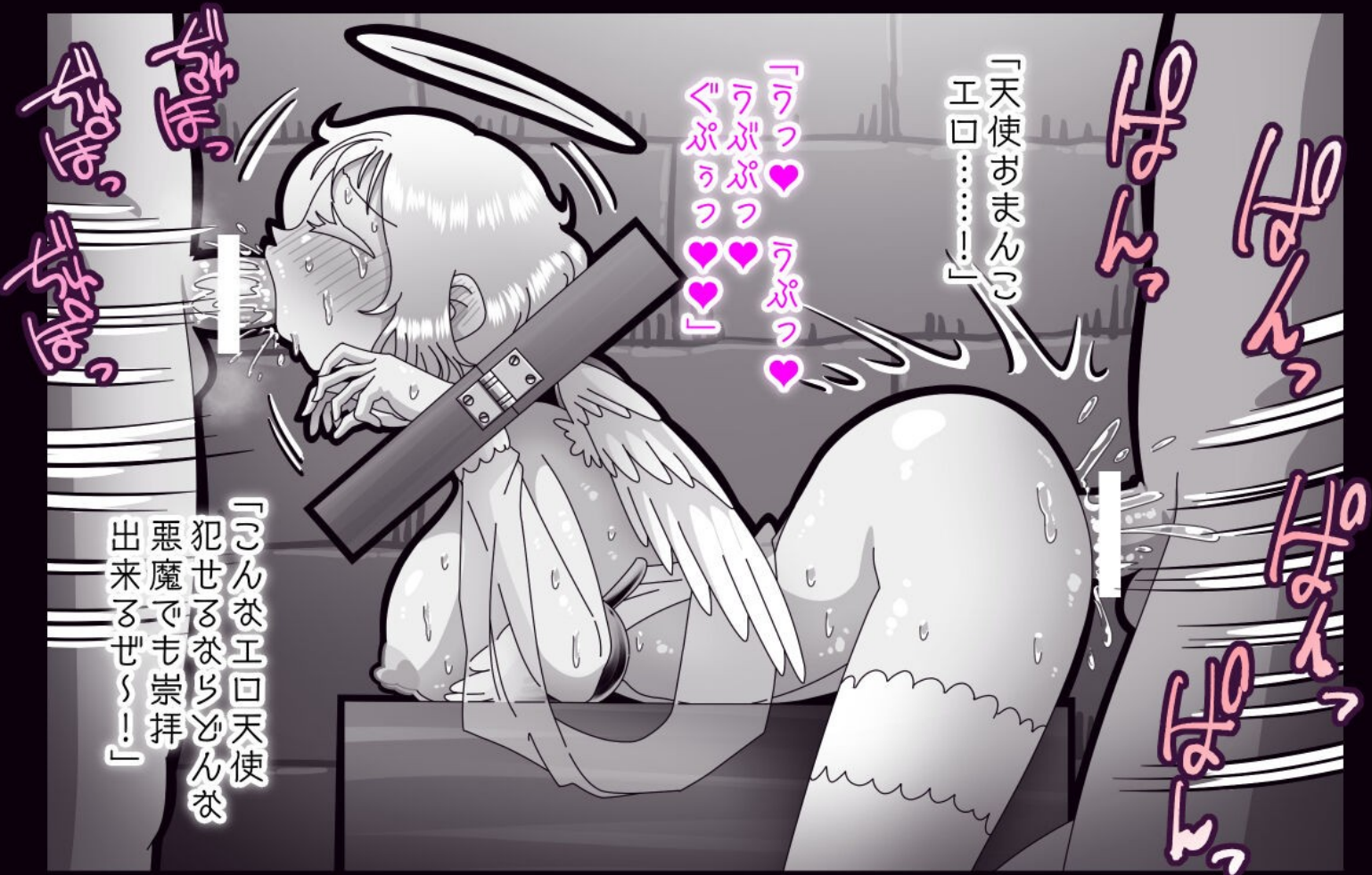
「ああんっ♡
いやんっ♡
ああんっ♡
いやあんっ♡」

「どお？
私の仲間に
なりたくならない？」

「はあ♡ はあ♡
だ誰が仲間に
なるもんですか……」

「あらそう
じゃあもっと
楽しませて
あげるわ♡」

「あう……
ここれ以上は
本当に壊れ
ちゃうよあ……」



「中やしぶとい
わねえ……」

「はあ♡ はあ♡
あ♡ 当り前ですっ♡
神に仕える者は
これしきの事で
くじけたりしませんっ♡」

「……のワリには
楽しんでやってる
みちいじゃない♡」

「までも流石に
コレは耐えられる
かしら……？」

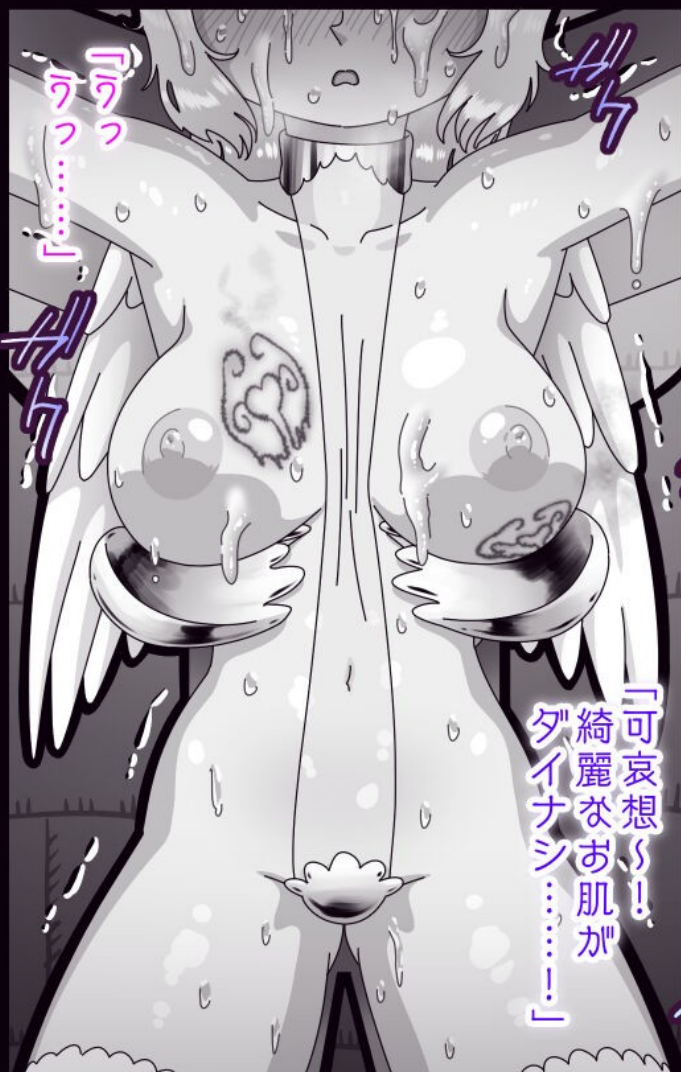
「えっ!?!
まさかっ
それ……」



「そうよ♡
おっぱいに
押し当てて
あげる♡」

「ざーあああああッ!!」

「ウハ
ウハ
ウハ
ウハ」



「うっ
うっ……」

「可哀想!!
綺麗なお肌が
ダイナシ……!!」



「あッ! あッ!
あぐうううッ!!」

「ほら
こっちも!」



「ふうっ
負けないうっ
負けないうっ!!」

「は
は
は
は」

「まあ天使ちゃん
私と楽しみ
ましよう……♡」

「……け……
汚らわしい！」

「うふふ♡
その威勢がいつまで
保つかしらね♡」

「えっ!？」

「女の子の身体に
おちんちん!？」

「うふふふふ♡
悪魔の力は
何でもアリなの♡」

「あ
あ
あ……
そ
そ
んな……」

「#キーン」

「天使おまんこ
柔らかあい♡♡
クセになりそう♡♡」

「あっ♡ あっ♡
あああ♡♡♡♡♡」

「一緒にイキましょ♡♡
イクっ♡ イくっ♡♡」

「あひいいいんっ♡♡♡♡♡」

ほんほん

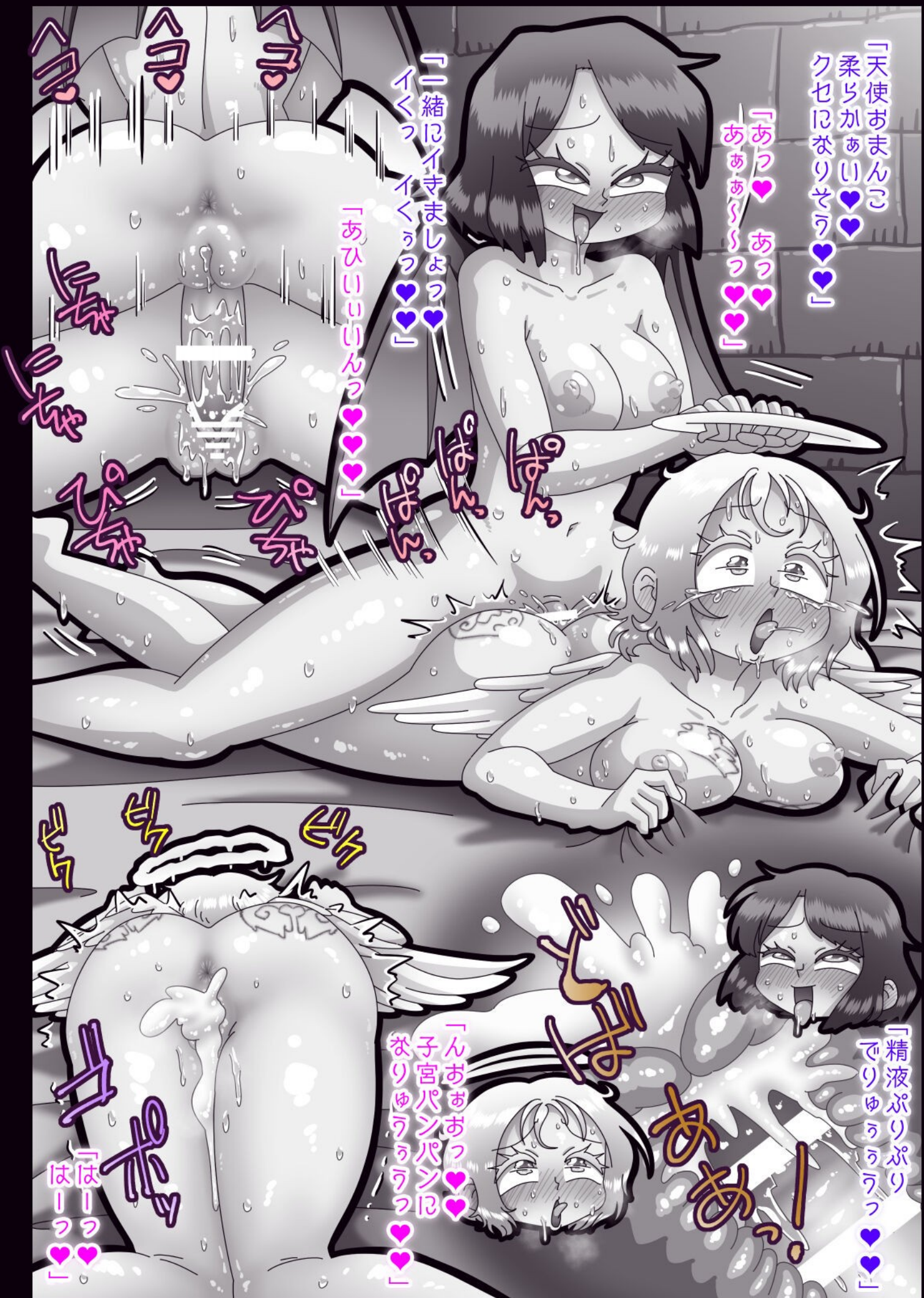
ぴんぴん

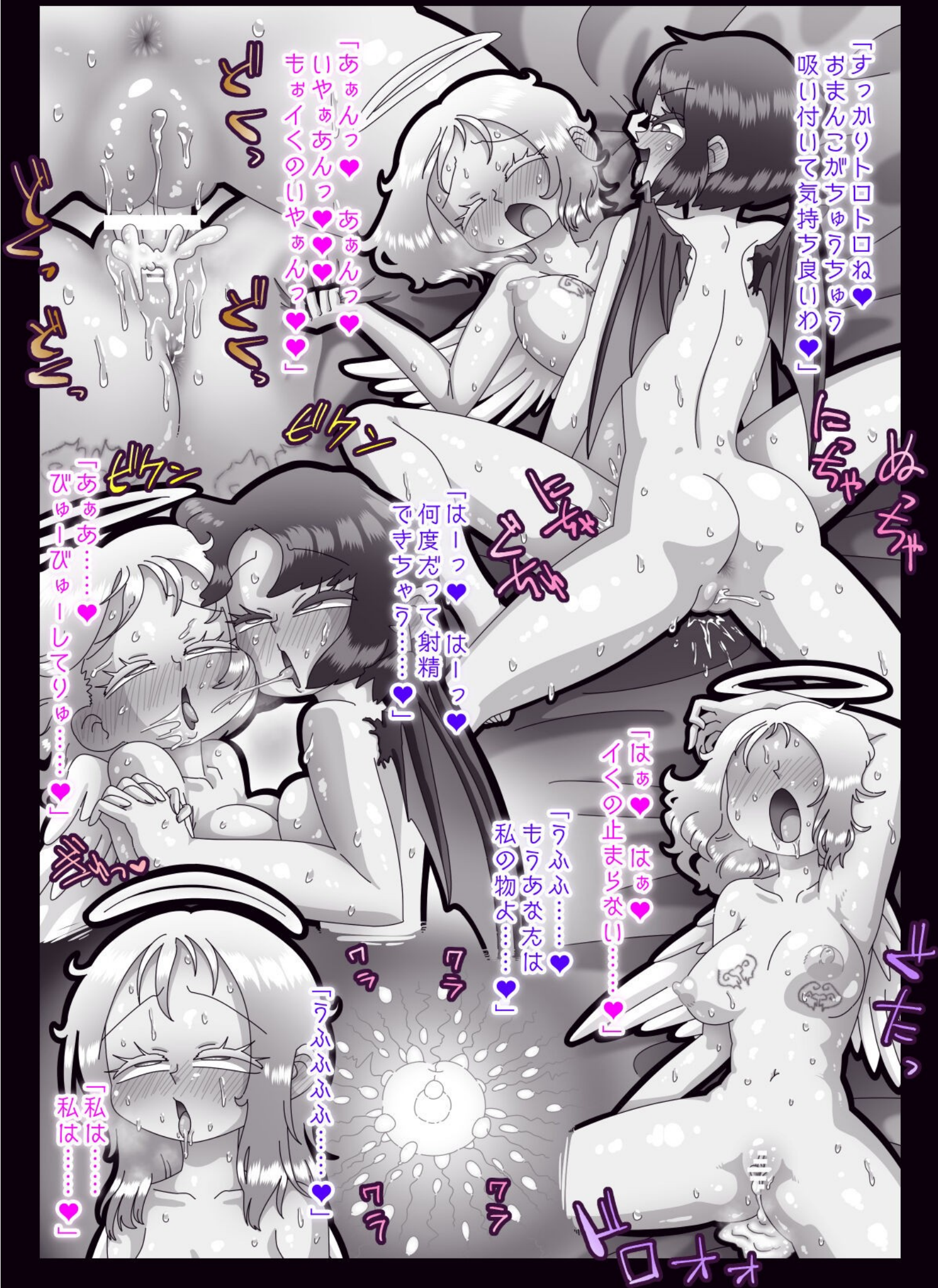
「精液ぷりぷり
でりゅううっ♡♡」

あめ!!

「んおおっ♡♡
子宮パンパンに
なりゅううっ♡♡」

「はーっ♡♡
はーっ♡♡」





「私は……
あなたの方の物です……♡」

「悪魔の赤ちゃん
産みます……♡」

「うふふ ♡
そうね
こんなにお腹が
大きくなって
来たんだもの」

「あともう少しで
あなたは悪魔の子を
産むのよ……♡
うふふ ♡」

うた

ス
ス

とろり





「あれから数か月
ワイは必死に
お嬢ちゃんの間を
探して世界中を
飛び回ったんや！」

「きつとこの先に
他の天使が
おるハズやで！」

「ああワイは一体
誰に向かって
しゃべってるんや！」



「ど言うワケ
なんや！」

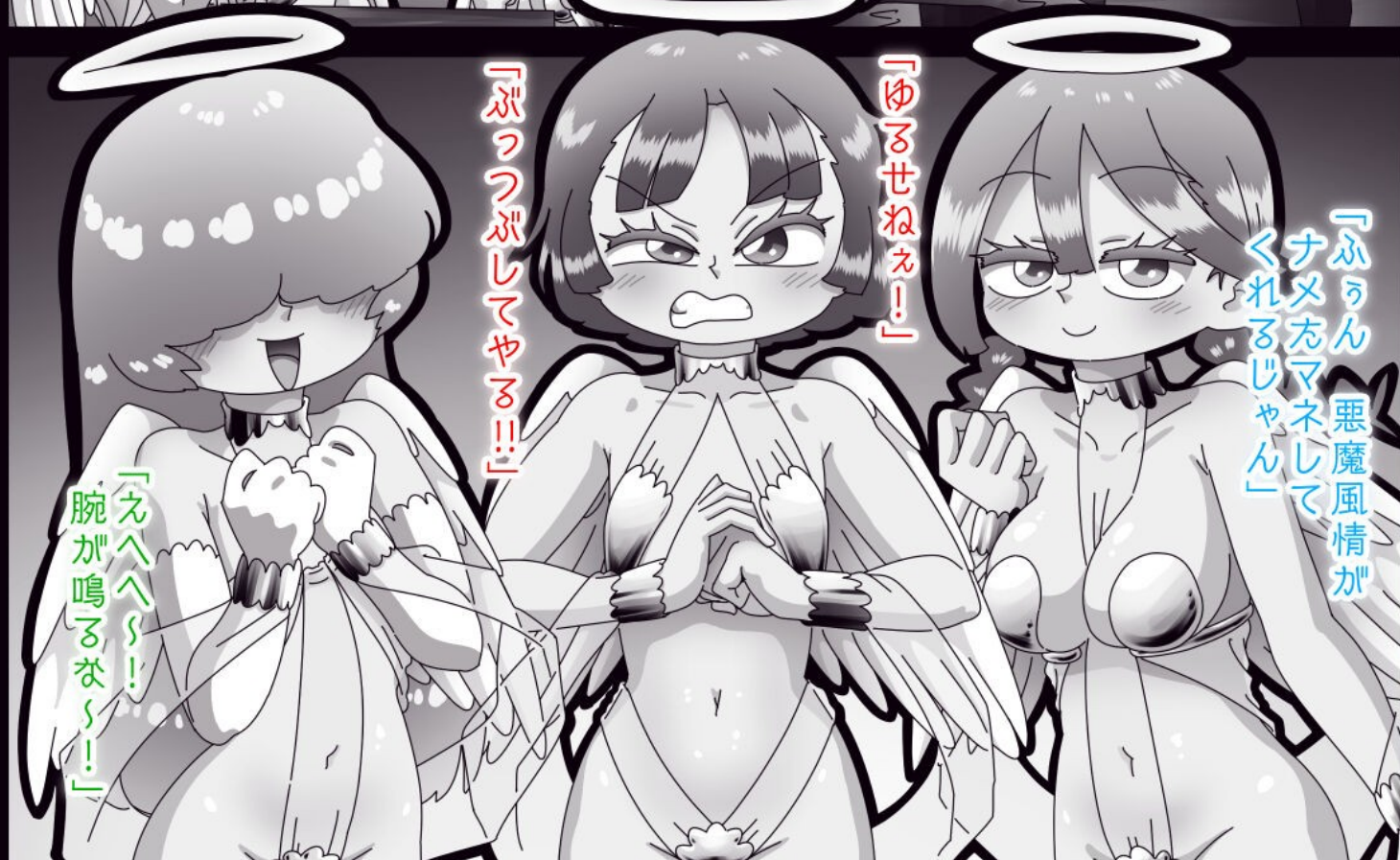
「なっ！
なんだって！？
悪魔共が
そんな事を！？」



「んー 天使かー？」

「あつちで
見たな！」

「ホンマか！」



「ふうん 悪魔風情が
ナメたマネして
くれるじゃん」

「ゆるせねえ！」

「ぶっつぶしてやる!!」

「えへへ！
腕が鳴るな！」

「おっ♥ おおっ♥
また中出しっ♥」

「もう妊娠
しちゃいましゅっ♥」

「は〜♥
は〜♥
悪魔ちゃんぽで
墮天すりゅ〜♥」

「皆仲良く私を
崇めるのよ♥」

ぐわんぐわん

「イグググ
イグググ♥♥
イグググ♥」

ばちばち

(あかん!
コイツリ
弱すぎや!)

(も〜面倒
みきれんで
ホンマに!)

「ははい……
ライラ様……♥♥」

おしまい♥

ぐわんぐわん

悪魔

なんかに

負け

だって

天使

だもん!

絶対にやで!!

勝てるかしら?

うふふ...♡

作切傷甲



「こんにちは！ 私リエル！ 最近この辺りで怪しい悪魔が目撃されているの！」

「私が調査をしてやっつけなきゃ！」

「一体誰に向かって話してるんや……」

「あっ誰かおるで！」

「早速聞き込みに行きましょう！」

「こんにちは！ 私リエル！ この辺りで怪しい悪魔を見かけませんか？」

「教えてくれた方リエルとっても嬉しい！」

ふふっ♡

「天使にこの様な真似
神の裁きが下りますよ!」

「うふふ
強がっちゃって」

「ライが助けを
連れて来るまで
耐えるんやで!」

「私は悪魔なんか
負けません!」

「その威勢
いつまで
もつかしら?」

バチッ!

「!!!」

はっ!!





「さっやっ!
ちよつと!
やめて下さい!」

「へへへ……」

「目を覚まして!
あなた達は
悪魔に洗脳
されてるのよ!」

「良い身体
してるぜ……」

「あなたを
イかせまくって
仲間になりたく
らせてあげる♡」

ぽろん

きりっ!

「あんっ!」

きりっ!

「悪魔が何をして
私も絶対
イッ方りしません!!」

きりっ!

「だ
る
誰が仲間に
すか!」

きりっ!





「あっ♡ あんっ♡
いやんっ♡ いやんっ♡」

「なんて
いやらしい子
なのかしらね
♡」

「処女なのに
これだけ激しく
されても
気持ち良く
なるなんて♡」

「きつて♡
なんで♡
いっつも♡
♡なにか♡
♡いません♡
♡♡

「気持ち良くて♡
♡♡♡」



「じゃあなるまで
もつと激しく
してあげる♡」

「ああんっ
イくイく
イくうっ
♡♡♡
」



「いっちゃんうっ♡♡♡」

びん

びん
びん
びん
びん
びん

うっ
うっ
うっ
うっ
うっ

「神しやまあ♡♡♡
ごめんしやい♡♡♡」

!!

ん
ん
ん
ん
ん



「気持ち良くて……♡
おかしくなっちゃう♡」

「ああんっ♡
いやんっ♡
ああんっ♡
いやあんっ♡」

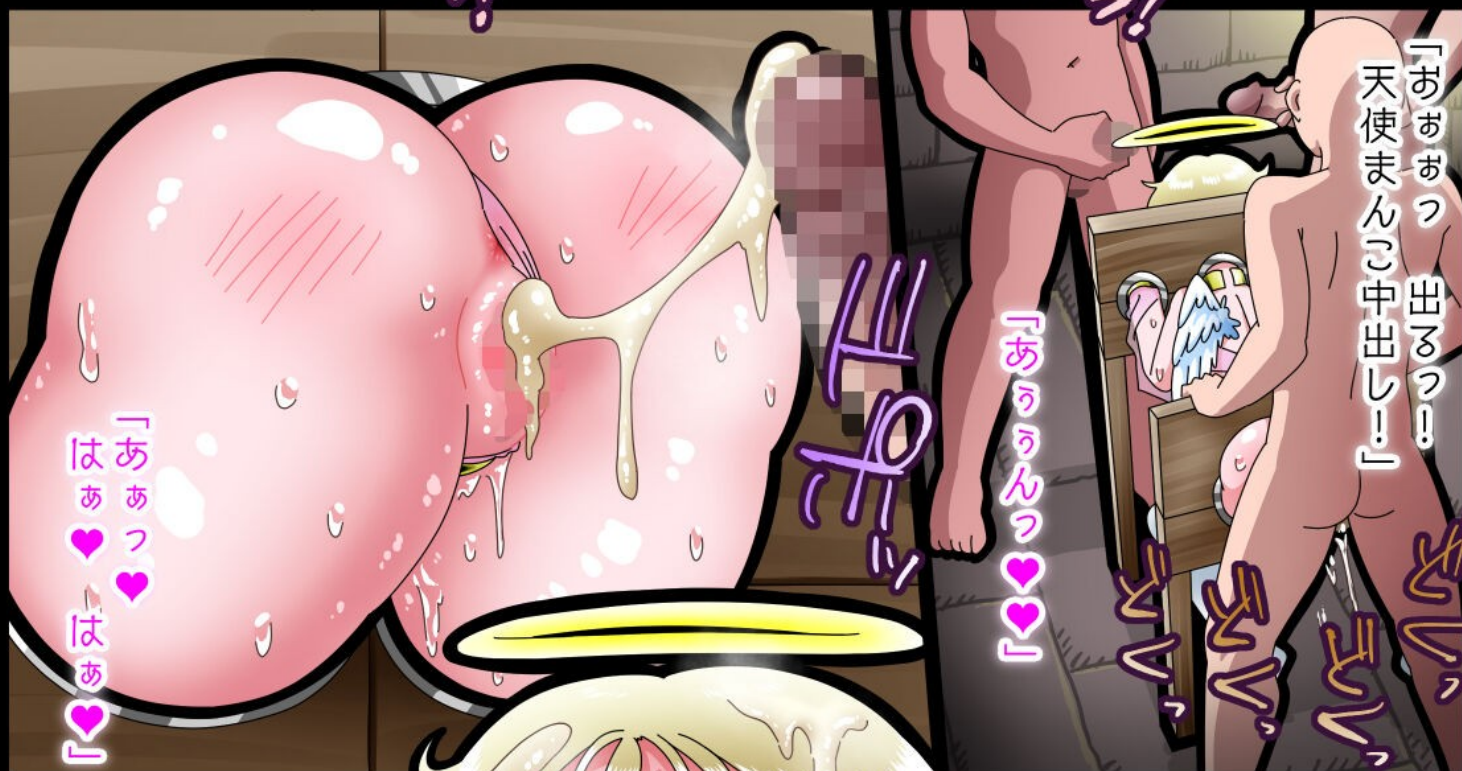
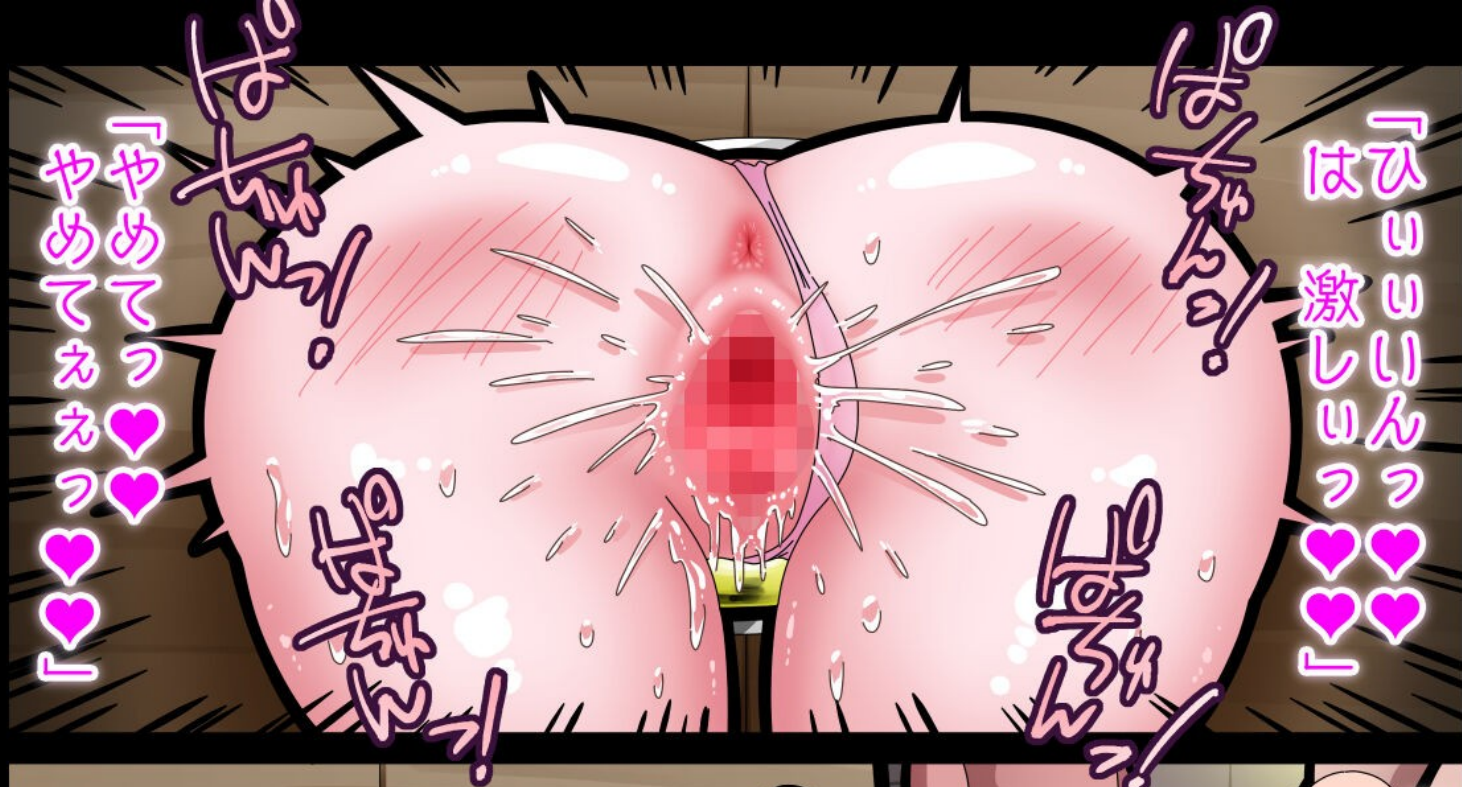


「どお？
私の仲間に
なりたくならない？」

「はあ♡ はあ♡
だ誰が仲間に
なるもんですか……」

「あらそう
じゃあもっと
楽しませて
あげるわ♡」

「あう……
ここれ以上は
本当に壊れ
ちゃうよあ……」



「中やしぶとい
わねえ……」

「はあ♡ はあ♡
あ♡ 当り前ですっ♡
神に仕える者は
これしきの事で
くじけたりしませんっ♡」

「……のワリには
楽しんでやってる
みちいじゃない♡」

「までも流石に
コレは耐えられる
かしら……？」

「えっ!?!
まっ!?!
まっ!?!
それ……」



「そうよ♡
おっぱいに
押し当てて
あげる♡」

「きゃあああああッ!!」



「あッ! あッ!
あぐううッ!!」

「ほら
こっちも!」



「ふうっ
負けないうっ
負けないうっ!!」



「可哀想〜!!
綺麗なお肌が
ダイナ……えっ!」

「なんで焼き印
付いて無いの!」



「まあ天使ちゃん
私と楽しみ
ましよう……♡」

「……け……
汚らわしい!」

「うふふ♡
その威勢がいつまで
保つかしらね♡」

「女の子の身体に
おちんちん!」

「うふふふふ♡
悪魔の力は
何でもアリなの♡」

「あ
あ
あ……
そんな……」



「天使おまんこ
柔らかあい♡♡♡
クセになりそう♡♡」

「あっ♡ あっ♡
あああ♡♡♡♡♡」

「一緒にイキましょ♡♡
イクっ♡ イくっ♡♡」

「あひいいいんっ♡♡♡♡♡」

はんはんはん

ぴんぴん

「精液ぷりぷり
でりゅうううっ♡♡」

あめ！

「んおおっ♡♡
子宮パンパンに
なりゅうううっ♡♡」

「はっ♡
はっ♡♡」

おめ



「すっかりトロトロね♡
おまんこがちゅうちゅう
吸い付いて気持ち良いわ♡」

「ああん♡ ああん♡
いやああん♡ ああん♡
もおくのいやあん♡」

「はー♡ はー♡
何度だって射精
できちゃう♡」

「うふふ…♡
もうあなた
私の物よ…♡」

「はあ♡ はあ♡
イクの止まらない…♡」

「うふふふ…♡」

「私は…♡
私は…♡」



「私は……
あなたの方の物です……♡」

「悪魔の赤ちゃん
産みます……♡」

「うふふ ♡
そうね
こんなにお腹が
大きくなつて
来たんだもの」

「あともう少しで
あなたは悪魔の子を
産むのよ……♡
うふふ ♡」

うた

ス
ス

とろり





「皆仲良く私を
崇めるのよ♡」

（も）
みきれん面
ンマに！で倒
ホ（

おしまい♡

悪魔

なんかに

負け

だつて

ない

天使

だもん!

絶対
ついに
やで!!

勝てるかしら?

うふふ...♡

作切傷甲

「こんにちは！ 私リエル！最近この辺りで怪しい悪魔が目撃されているの！」

「私が調査をしてやっつけなきゃ！」

「一体誰に向かっている話してるんや……」

「あっ誰かあるで！」

「早速聞き込みに行きましょう！」

ふあ

ふあ

「こんにちは！ 私リエル！この辺りで怪しい悪魔を見かけませんでしゅ？」

「教えてくれた方リエルとっても嬉しい！」

ふーい♡



「天使にこの様な真似
神の裁きが下りますよ!」

「うふふ
強がっちゃって」

「ライが助けを
連れて来るまで
耐えるんやで!」

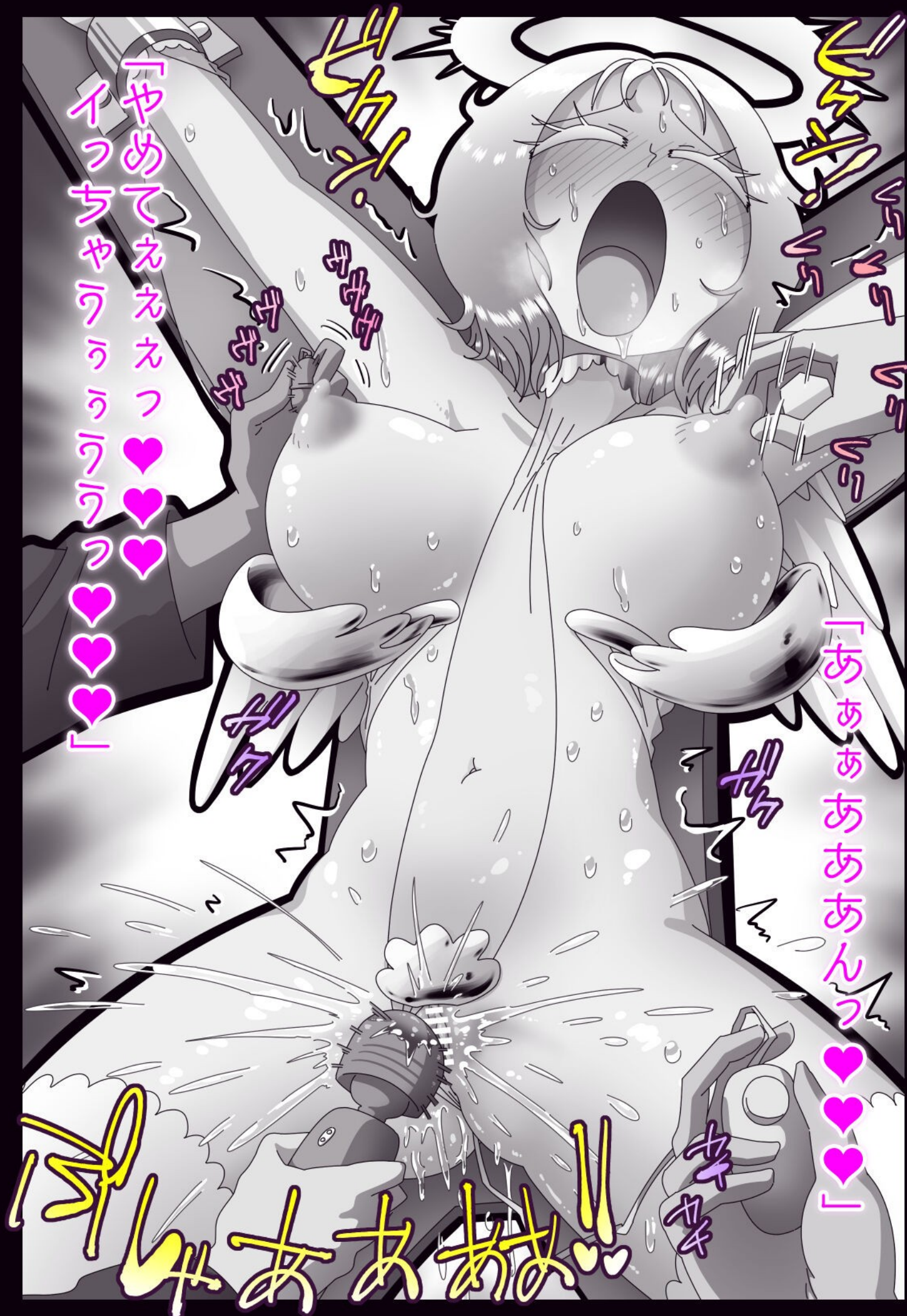
「私は悪魔なんか
負けません!」

バチッ!

「その威勢
いつまで
もつかしら?」

「!!」

はっ!



「やめてえええっ♡♡♡♡♡
イっちやううううっ♡♡♡♡♡」

「あああああんっ♡♡♡♡♡」

「あああああ!!♡♡」

「あっ♡ あんっ♡
いやんっ♡ いやんっ♡」

「なんて
いやらしい子
なのかしらね♡」

「処女なのに
これだけ激しく
されても
気持ち良く
なるなんて♡」

「すっ♡
なんて
気持ち良くっ♡
なんかつ♡♡♡
いませんっ♡♡♡」

「じゃあ なるまで
もっと激しく
してあげる♡」

「ああんっ♡♡♡
イクイク♡♡♡
イクうっ♡♡♡」

「うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡」

「うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡
うんっ♡♡♡」



「イっちゃうっっっっ♡♡♡」

びん

びん

びん

びん

びん

あーあーあー

「神しやまあ♡♡♡
ごめんしやい♡♡♡」

!!

ん

ん



「気持ち良くて……♡
おかしくなっちゃう♡」

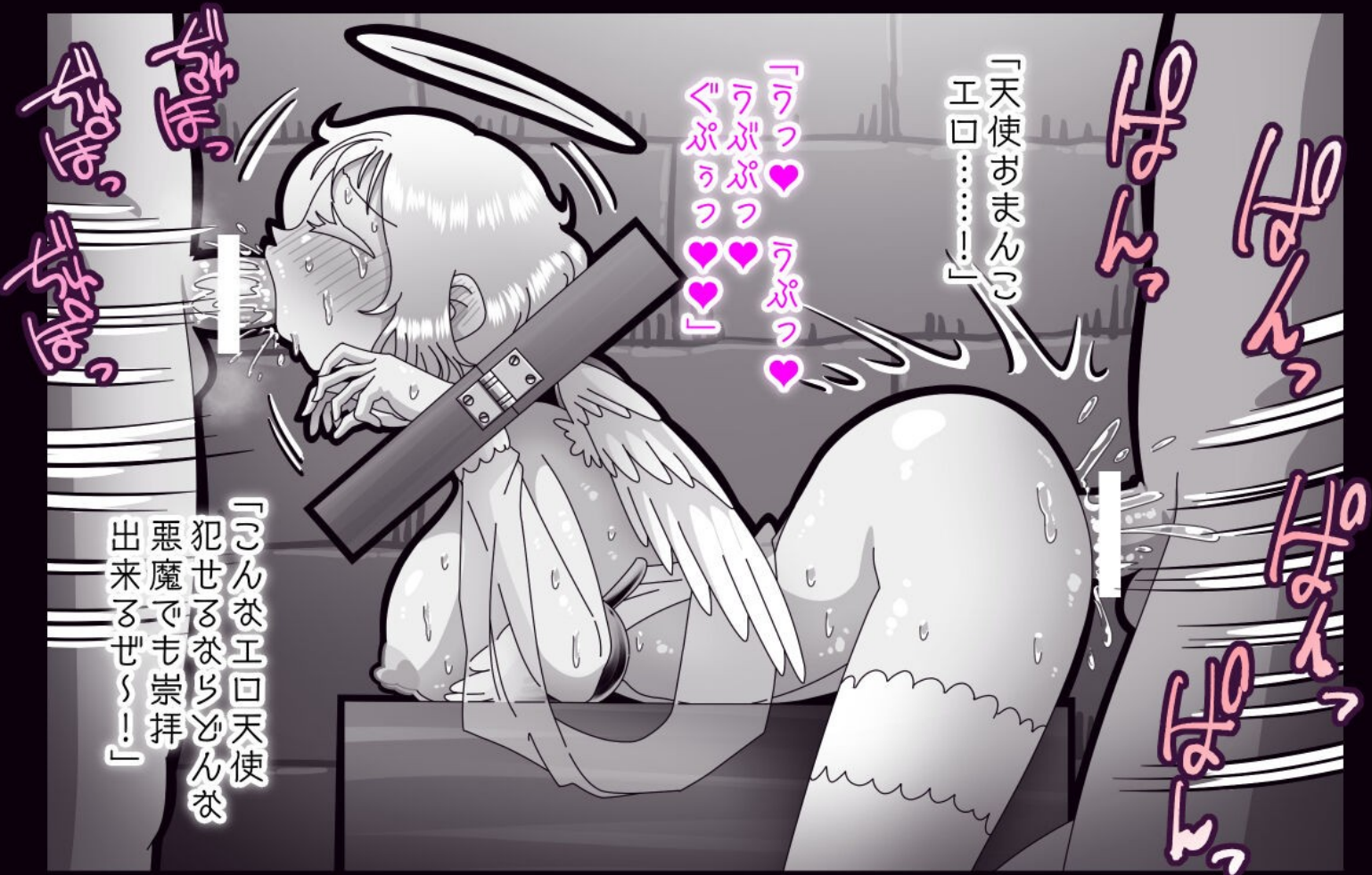
「ああんっ♡
いやんっ♡
ああんっ♡
いやあんっ♡」

「どお？
私の仲間に
なりたくならない？」

「はあ♡ はあ♡
だ誰が仲間に
なるもんですか……」

「あらそう
じゃあもっと
楽しませて
あげるわ♡」

「あう……
ここれ以上は
本当に壊れ
ちゃうよあ……」



「中やしぶとい
わねえ……」

「はあ♡ はあ♡
あ♡ 当り前ですっ♡
神に仕える者は
これしきの事で
くじけたりしませんっ♡」

「……のワリには
楽しんでやってる
みちいじゃない♡」

「までも流石に
コレは耐えられる
かしら……？」

「えっ!?!
まさかっ
それ……」



「そうよ♡
おっぱいに
押し当てて
あげる♡」

「きゃあああああッ!!」



「あッ! あッ!
あぐううッ!!」

「ほら
こっちも!」

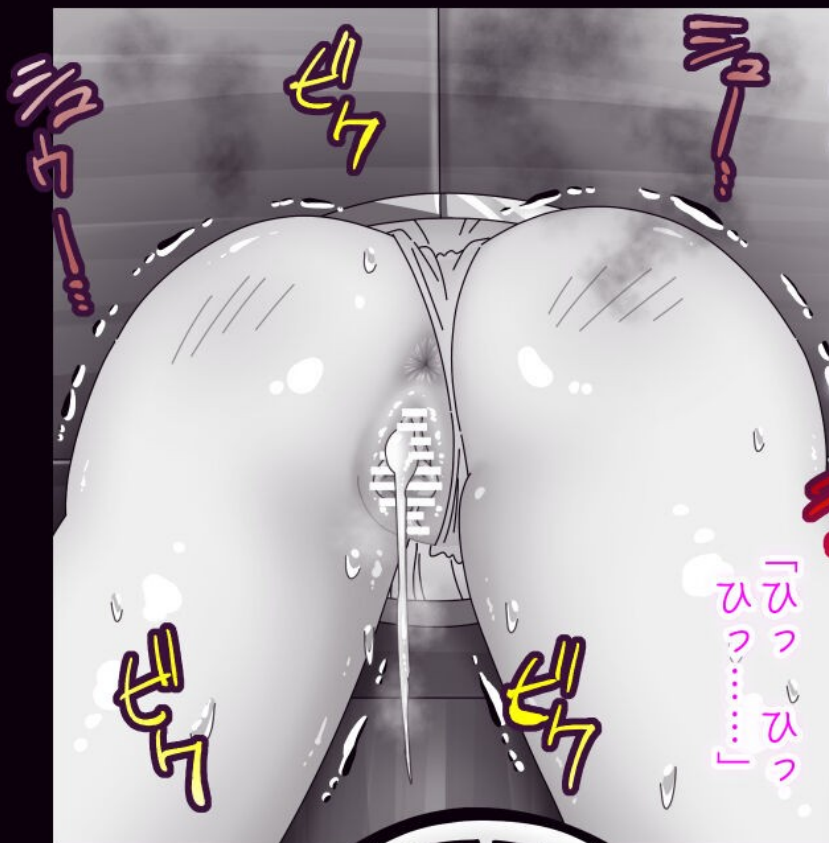
「なんで焼き印
付いて無いの!？」

「可哀想〜!!
綺麗なお肌が
ダイナ……えッ!？」



「ふうっ
負けないうっ
負けないうっ!!」





「まあ天使ちゃん
私と楽しみ
ましよう……♡」

「……け……
汚らわしい！」

「うふふ♡
その威勢がいつまで
保つかしらね♡」

「えっ!？」

「女の子の身体に
おちんちん!？」

「うふふふふ♡
悪魔の力は
何でもアリなの♡」

「あ
あ
あ……
そんな……」

「天使おまんこ
柔らかあい♡♡
クセになりそう♡♡」

「あっ♡ あっ♡
あああ♡♡♡♡♡」

「一緒にイキましょ♡♡
イクっ♡ イくっ♡♡」

「あひいいいんっ♡♡♡♡♡」

はん はん はん

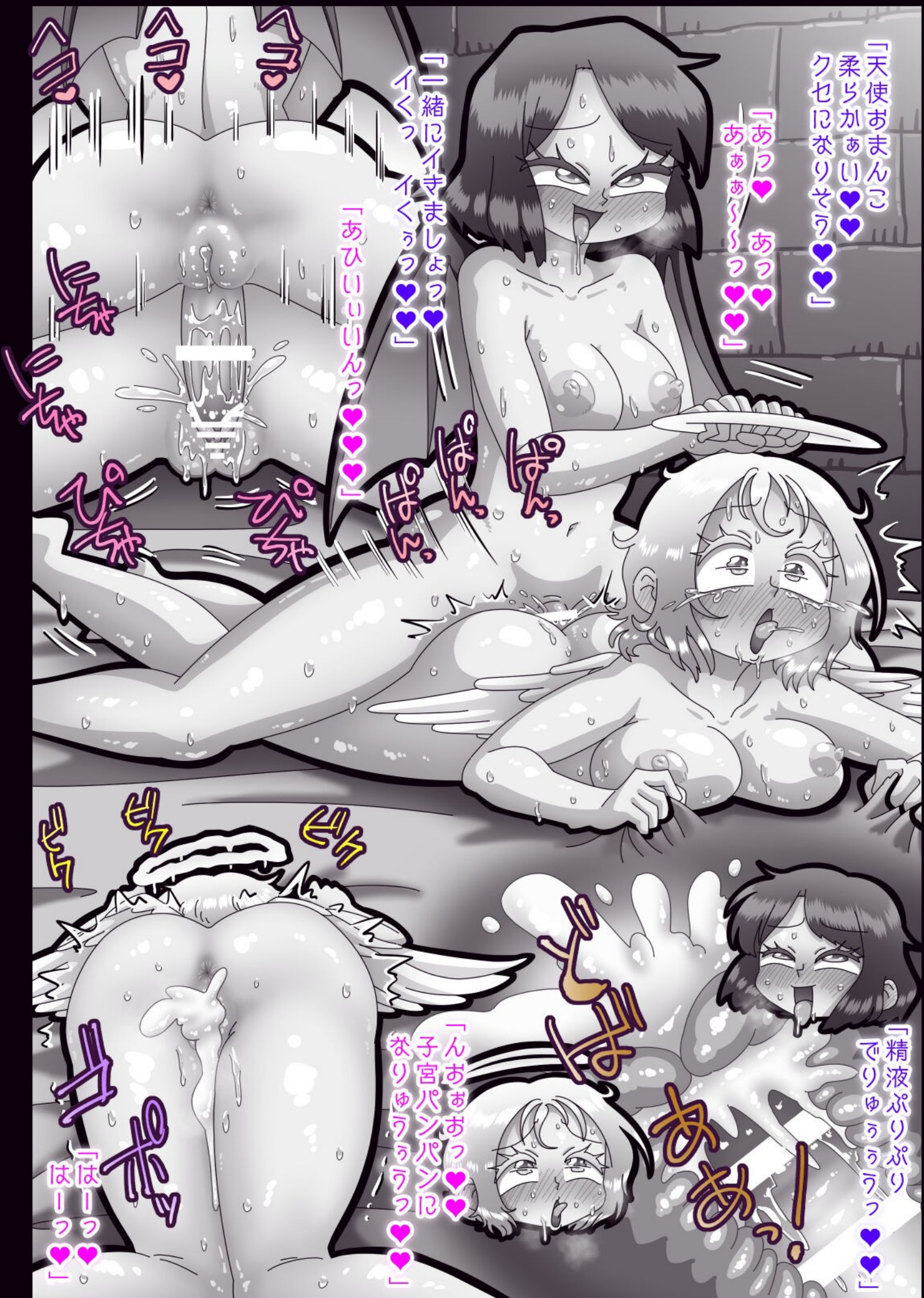
ぴゅ ぴゅ

「精液ぷりぷり
でりゅうううっ♡♡」

あめ!!

「んおおっ♡♡
子宮パンパンに
なりゅうううっ♡♡」

「はーっ♡♡
はーっ♡♡」



「すっかりトロトロね♡
おまんこがちゅうちゅう
吸い付いて気持ち良いわ♡」

「ああん♡ ああん♡
いやああん♡ ああん♡
もおくのいやあん♡」

ぬちゃ
にちゃ

どちゃ
どちゃ

「はー♡ はー♡
何度だって射精
できちゃう♡」

「はあ♡ はあ♡
イクの止まらない♡」

「うふふ……♡
もうあなたは
私の物よ……♡」

「うふふふ……♡」

「私は……♡
私は……♡」



「私は……
あなたの方の物です……♡」

「悪魔の赤ちゃん
産みます……♡」

「うふふ ♡
そうね
こんなにお腹が
大きくなって
来ちゃんだもの」

「あともう少しで
あなたは悪魔の子を
産むのよ……♡
うふふ ♡」

うた

ス
ス

とろり





「あれから数か月
ワイは必死に
お嬢ちゃんの間を
探して世界中を
飛び回ったんや!」

「きつとこの先に
他の天使が
おるハズやで!」

「ああワイは一体
誰に向かって
しゃべってるんや!」



「ど言うワケ
なんや!」

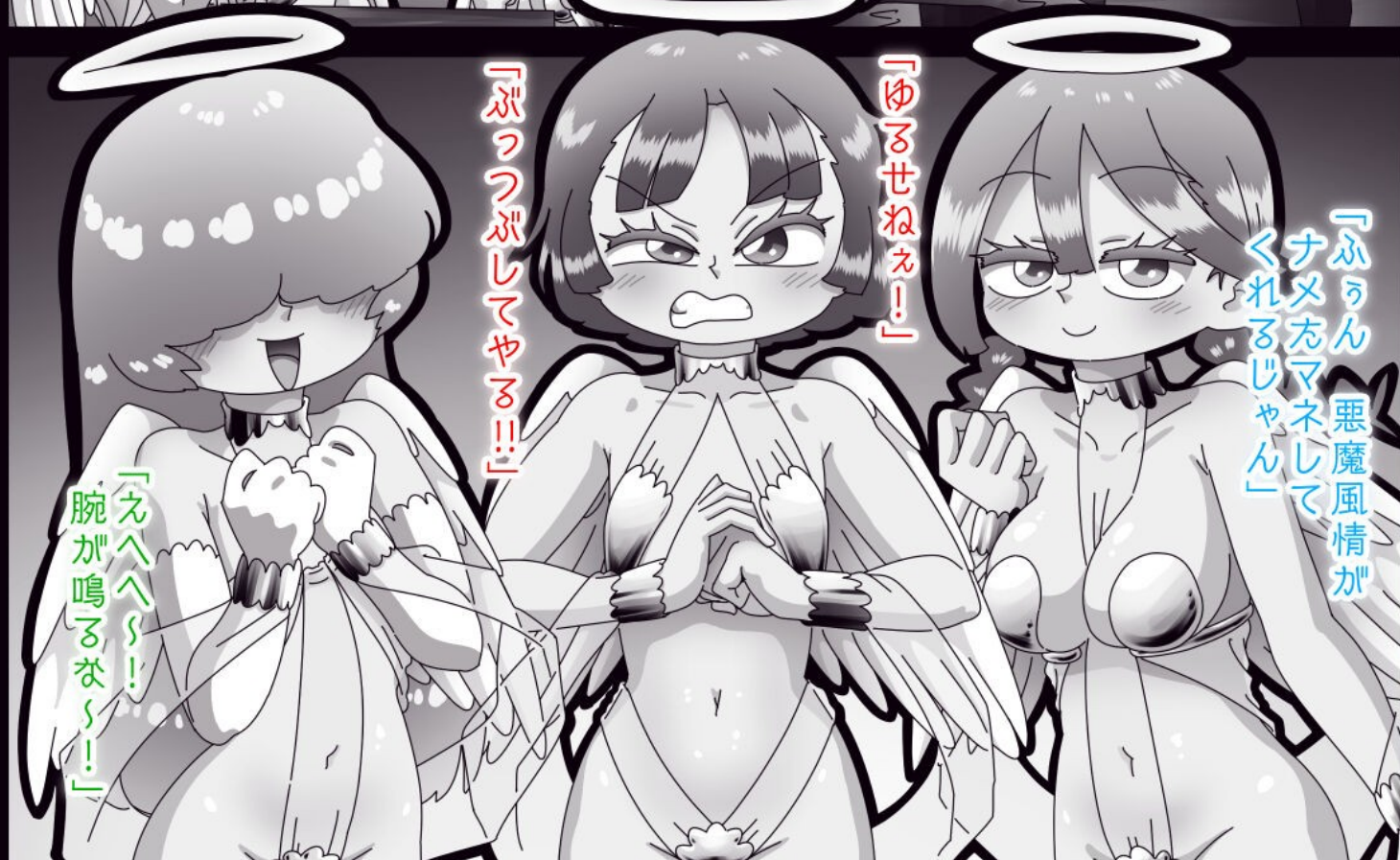
「なっ!
なんだっけ!?
悪魔共が
そんな事を!」



「ホンマか!」

「あつちで
見たな!」

「んー 天使か!」



「ふうん 悪魔風情が
ナメたマネして
くれるじゃん」

「ゆるせねえ!」

「ぶっつぶしてやる!!」

「えへへ! 腕が鳴るな!」

「おっ♥ おおっ♥
また中出しっ♥」

「もう妊娠
しちゃいましゅっ♥」

「は〜♥
は〜♥
悪魔ちゃんぽで
墮天すりゅっ♥」

「皆仲良く私を
崇めるのよ♥」

ぐわんぐわん

「イグッ♥
イグッ♥
イグッ♥
うっ♥」

ばちばち

(あかん!
コイツリ
弱すぎや!)

(も〜面倒
みきれんで
ホンマに!)

「ははい……
ライラ様……♥」

おしまい♥

ぐわんぐわん